

環境経営レポート



作成日 2024年8月29日
対象期間 2023年4月～2024年3月



MATSUSHO CO., LTD.

自動車部品・産業機械部品の製造 株式会社松昇

ご挨拶

株式会社松昇は、富士機械グループの一員として、1973年創業以来、自動車部品・産業機械部品の部品加工会社として歩んでまいりました。

品質・納期・コストそれぞれの要求が満足できる体制の確立の為、人・物への最大限の投資を行い、お取引先様からの信頼される企業を目指してまいりました。

環境への配慮も企業の社会的責任として捉え、《地球環境に優しい会社》を目指しスタートした環境活動も、18年目の活動を終えました。

全社員一丸となって取り組んで来た成果を、「環境経営レポート」にまとめておりますので、ご高覧の上、ご指導・ご指摘いただければ、次の環境活動に生かして行きたいと存じます。

株式会社 松昇

代表取締役

中島 勝利

目次

I.	環境方針	P - 2
II.	事業活動の規模	P - 3
III.	EA21推進体制	P - 4
IV.	環境目標とその実績	P - 5
V.	環境目標の達成状況	P - 6
VI.	環境活動の取組計画と評価及び次年度の取組内容	P - 7
VII.	各班の取り組み 『班長ひとこと！！』	P - 8
VIII	環境関連法規制の遵守状況	P - 9
IX	代表者による全体評価と見直しの結果	P - 9

I. 環境経営方針

－ 企業理念 －

1. 「ワンチーム・ワンスピリット」を合言葉に、何事も全社一丸となって取り組みます。
2. 「安定生産・安定供給・安定品質」＋「安全」を掲げ、お客様から信頼される企業を目指します。
3. 「地球環境に優しい会社」を目指し、環境活動を継続的に行います。

－ 環境経営方針 －

当社は、「環境・地域社会との調和」に重点を置き、企業活動のあらゆる面で環境保護に配慮し、行動することにより、自然と社会にやさしい企業を目指します。

－ 運営基準 －

- ・ 当社主力事業である自動車部品・産業機械部品の製造工程（旋削・転削・歯切り等）において発生する環境負荷を継続的に改善します。
- ・ 環境に関する法規制、条例及び顧客の要求事項を満たすため、環境マネジメントシステムの有効性について継続的に改善を行います。
- ・ 次の事項を最重点テーマとして、環境目標を設定し、継続的に取り組みます。
 - （１）二酸化炭素の排出量削減
 - （２）廃棄物の排出量削減
 - （３）水使用量の節約
 - （４）化学物質の適正管理
 - （５）グリーン購入の推進
 - （６）５Ｓ活動の推進
- ・ 環境方針は全従業員に周知徹底を図り、理解され、実行され、維持されるように努めます。

－ この環境方針は、社外にも公開します －

2019年4月1日
株式会社 松昇

代表取締役

中島 勝利

Ⅱ．事業活動の規模

1. 事業者及び代表者名

株式会社 松昇

代表取締役 中島 勝利
2. 所在地

〒379-0223
群馬県安中市松井田町二軒在家1437-1
3. 環境管理責任者及び担当者連絡先

代表責任者：	代表取締役	中島 勝利
環境管理責任者	代表取締役	中島 勝利
担当	事務局	黒坂 武史
連絡先	T E L 027-393-3311 F A X 027-393-1717	
4. 事業の内容

自動車部品・産業機械部品の製造、販売
5. 取組対象範囲

株式会社松昇 全組織・全活動
6. 従業員数

男子 37名	女子 10名	計 47名
--------	--------	-------
7. 敷地面積

敷地面積 4,000㎡	延床面積 2,120㎡
-------------	-------------

省エネ運動管理班



5 S 活動推進管理班



オイル・切粉置場管理班



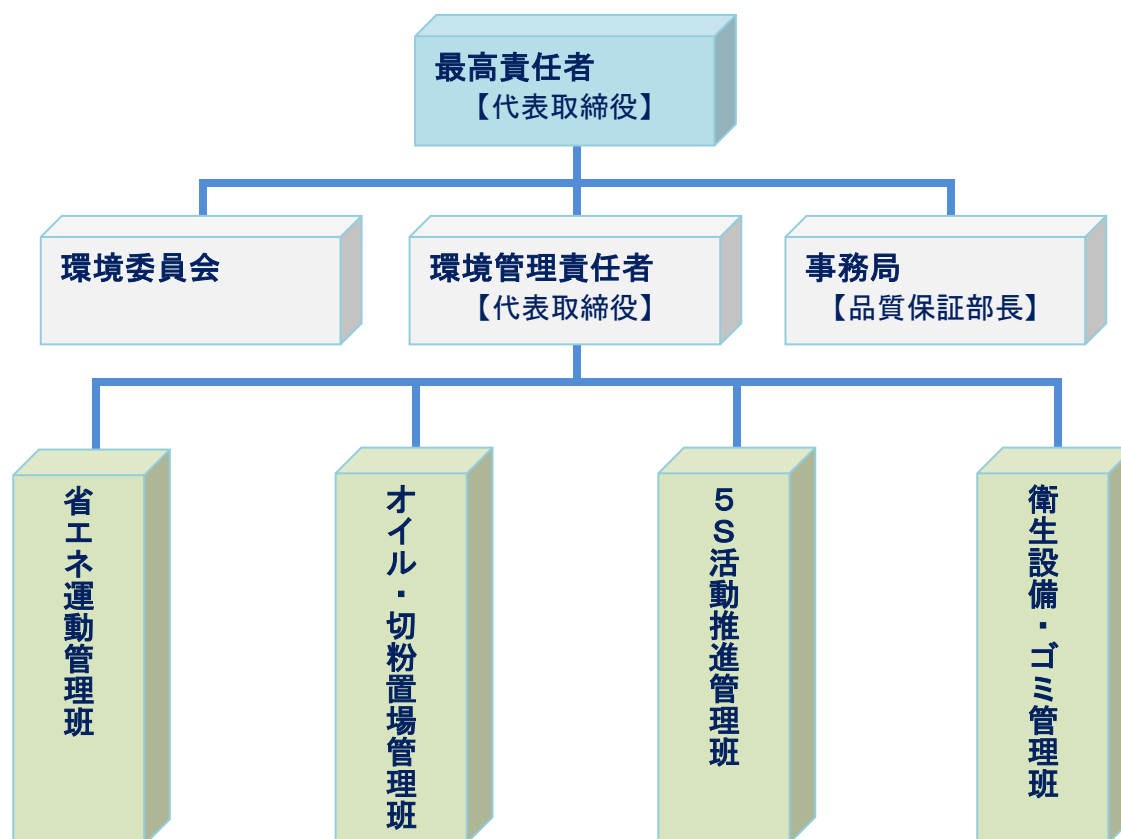
衛生設備・ごみ管理班



Ⅲ. E A 2 1 推進体制

当社の推進体制の特徴は、全従業員を4つの班にごちゃ混ぜにしているところです。通常業務では顔を合わせることのないもの同士が、班活動では意見を出し合い一緒に活動していく・・・その結果、社員同士の仲間意識が強くなり、雰囲気もよくなっていると感じています。

また各班の班長は、次期リーダー候補の若手従業員。副班長に係長クラスを置き、班長を補佐する体制となっています。これは、リーダーシップを実践的に学ばせる非常によい機会となっており、人材育成にも効果的な活動となっております。



職 名	役 割
代表取締役	最高責任者（イ）環境管理責任者の任命（ロ）経営諸資源の準備（ハ）環境方針の制定（ニ）システムの見直し 環境管理責任者（イ）経営諸資源の運用（ロ）環境委員会の運営
品質保証部長	事務局（イ）環境管理責任者の補佐（ロ）実務全般
班長	各班の管理責任者（イ）班ごとの環境活動の運用、管理（ロ）班内の人材育成
副班長	班長の補佐
相談役	各班の相談役
環境委員会	・ 社長、品質保証部長、班長、副班長、相談役で構成し、社長が招集する。 ・ 環境目標の設定、環境活動計画の策定及び進捗管理について協議する。 ・ 社長が必要と認めた者は出席することができる。

IV. 環境目標とその実績

5期目の最終年度である2020年度（2020年4月～2021年3月）の環境負荷実績を基準とし、2021年度～2023年度までの目標を下記のとおり定め、6期目の活動を開始した。

※排出係数（東京電力）0.474（H28）

※一定量を超えるところに切り替わります→排出係数（erex）0.679（H28）

※2022年8月より電力会社を「グローバルエンジニアリング」に変更[排出係数0.543(R3)]

1. 主要な環境目標と環境負荷・実績

環境目標項目	環境実施項目	単位	基準	2021年度	2022年度	2023年度		次年度目標	中期目標
			2020年度実績	目標	目標	目標	実績	2024年度 (2023年度比)	2026年度 (2023年度比)
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量	kg/百万円	665.44	663.11 (0.35%減)	660.78 (0.7%減)	658.79 (1.0%減)	660.18 (0.79%減)	657.87 (0.35%減)	653.58 (1.0%減)
廃棄物の削減	一般廃棄物量	kg/百万円	7.26	7.23 (0.35%減)	7.21 (0.7%減)	7.19 (1.0%減)	4.92 (32.20%減)	4.90 (0.35%減)	4.87 (1.0%減)
	金属廃棄物量	kg/百万円	395.55	394.17 (0.35%減)	392.78 (0.7%減)	391.59 (1.0%減)	521.19 (31.76%増)	519.37 (0.35%減)	515.98 (1.0%減)
	廃油量	ℓ/百万円	57.84	57.64 (0.35%減)	57.44 (0.7%減)	57.26 (1.0%減)	38.90 (32.74%減)	38.76 (0.35%減)	38.51 (1.0%減)
水資源投入量の削減	水資源投入量	m³/百万円	1.20	1.20 (現状維持)	1.20 (現状維持)	1.20 (現状維持)	0.90 (24.84%減)	0.90 (現状維持)	0.90 (現状維持)

二酸化炭素総排出量	517,577.55 kg-CO2
一般廃棄物総量	3,860.00 kg
金属廃棄物総量	408,610.00 kg

廃油総量	30,500 ℓ
水資源総投入量	706.00 m³
売上高	784 百万円

【過去3年間の実績】

※排出係数

同上

環境目標項目	環境実施項目	単位	2020年度	2021年度	2022年度
			実績	実績	実績
二酸化炭素排出量の削減	二酸化炭素排出量	kg/百万円	665.44	595.20	657.74
廃棄物の削減	一般廃棄物量	kg/百万円	7.26	6.55	5.09
	金属廃棄物量	kg/百万円	395.55	324.60	370.36
	廃油量	ℓ/百万円	57.84	50.21	54.35
水資源投入量の削減	水資源投入量	m³/百万円	1.20	0.94	0.85

2. 上記の目標の他に、以下の取組を推進する。

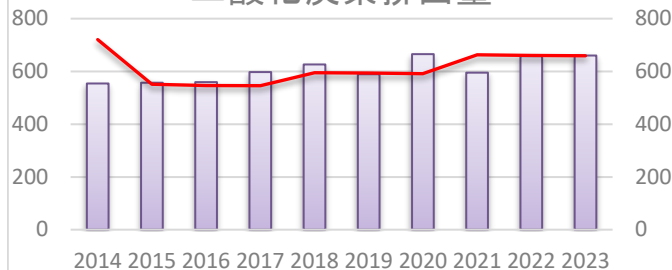
【5S活動の推進】

2023年度目標 『職場環境の改善』

⇒ 2023年度は、工場内における職場環境の改善が、少しずつ前進できているのではないかと思います。来年度以降も、社内の職場環境・社員の健康に関して、改善が進んで行くことを期待します。

V. 環境目標の達成状況

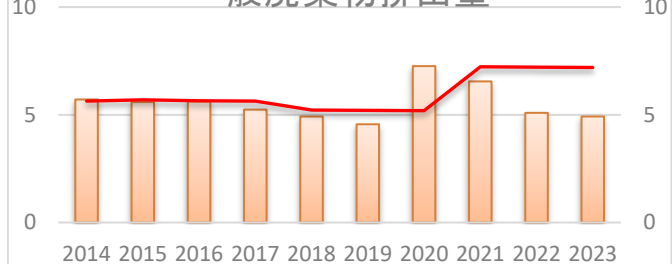
二酸化炭素排出量



目標未達…

前年より排出量を削減することができたが
目標値にはわずかに届かなかった。
…残念(-_-;)

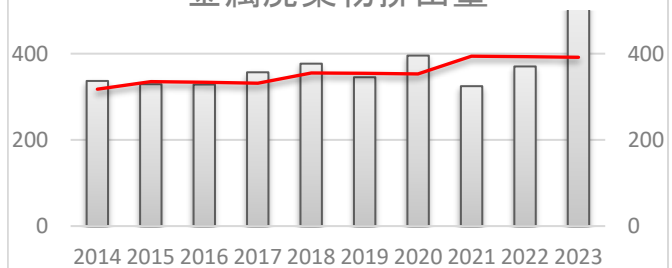
一般廃棄物排出量



目標達成!!

一般廃棄物好成績！
排出量は過去2番目にいい結果!!

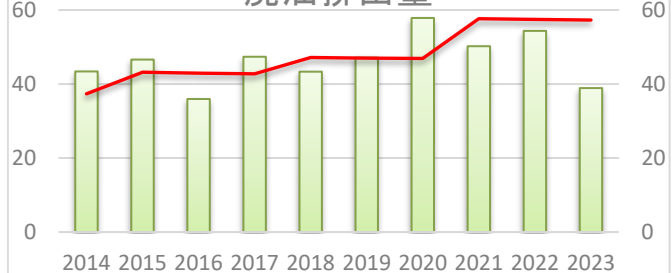
金属廃棄物排出量



目標未達…

大幅な増加となってしまった。
工程不良率は目標の2000ppm以下を達成
している。使用する見込みのない古い材料を
まとめて処分したことが影響したか…

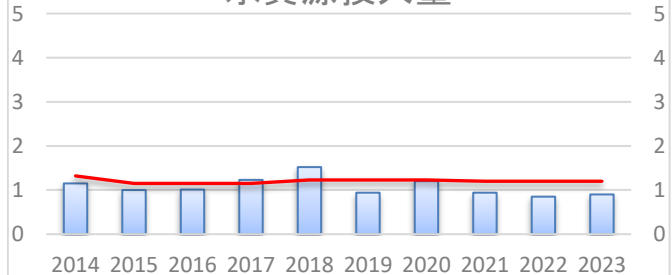
廃油排出量



目標達成!!

廃油もかなりの好成績！
一般廃棄物と同じく、排出量は過去2番目に
いい結果となりました。

水資源投入量



目標達成!!

工程内での水の使用がないため、使用量は
もともと少ないが、生活排水を削減するべ
く、各水道に節水を促すポスターを掲示し
啓蒙活動をしている。

Ⅵ. 環境活動の取組と評価及び次年度の取組内容

取組計画	評価 + 次年度の取組内容
①二酸化炭素排出量の削減 2020年度実績に対して 2023年度に1.0%削減する。 『目標達成手段』 ・現状排出量の調査・把握 ・設備稼働率の向上 ・省エネ運動活動の推進・実施	0.79%削減させたものの目標未達 ・コンプレッサーの点検、整備を毎月実施。騒音も抑えられている。 ・エアホースの交換。 ・遮光ネット設置。省エネに関する呼びかけ。 ・コンプレッサー冷却用扇風機設置。 【次年度】終業時機械電源OFFの徹底 評価 △
②廃棄物（一般廃棄物・金属廃棄物・廃油）の削減 2020年度実績に対して 2023年度に1.0%削減する。 『目標達成手段』 ・現状廃棄量の調査・把握 ・不具合品数の削減 ・オイル（廃油）量削減活動の推進・実施 ・一般ゴミ量削減活動の推進・実施 ・コピー用紙の再使用の実施	一般廃棄物：32.20%の削減を達成 金属廃棄物：31.76%の増加 廃油：32.74%の削減を達成 ・一般廃棄物：廃材の撤去。事務所・食堂の床汚れ清掃。 ・金属廃棄物：死蔵材料処分が影響したと思われる。 ・廃油：オイル置場の整理整頓、油水分離層の清掃を実施。粉状切粉用バケツ設置。意識高揚のためオイル名の表示に金額を表示した。 【次年度】 一般廃棄物：ゴム手袋・エプロン使用量増対策 金属廃棄物：工程不良率の削減(目標1900ppm以下) 廃油：ジョッキ汲み上げ時の油こぼれ対策 評価 △
③水資源投入量の削減 2020年度実績に対して 2023年度も現状を維持する。 『目標達成手段』 ・現状使用量の調査・把握 ・節水の呼びかけ実施	24.84%の削減を達成 ・もともと使用量は少ないため、生活排水を削減すべく、各水道に節水を促すポスターを掲示。 【次年度】 ポスター掲示を継続、節水の呼びかけ 評価 ○
④化学物質の適正管理 現状の調査・把握	・P R T R法に該当する化学物質の使用無し。
⑤グリーン購入の推進 現状購入量の調査・把握	・事務用品等の使用量は少ないが、グリーン購入量は増加。事務用品発注時に、可能な限りグリーン購入としている。
⑥5S活動の推進 職場環境の改善 『目標達成手段』 ・1回/月の大掃除の実施 ・共有スペースの整理・整頓（定位置化） ・オイル・切粉置場の整理・整頓・清掃 ・衛生設備の整理・整頓・清掃	・オイル置場前(駐車禁止)のライン引き ・倉庫内の整理整頓及び備品管理 ・会社周辺除草剤散布 ・倉庫横の小屋の片付け(老朽化により中の物を倉庫へ移動) ・ストーブとスポットクーラーの入れ替え ・3Dプリントによる測定器等の定位置化 【次年度】 チョコ工場ライン引き 評価 ○

VII. 各班の取り組み 『班長ひとこと!!』

省エネ運動管理班

『消費電力を削減するための活動』
に取り組んでいます。



今期の主な活動は・・・

コンプレッサー置場の環境改善！
遮光ネットの設置はおまかせください！



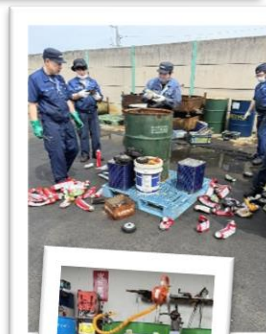
オイル・切粉置場管理班

『オイル・灯油類の削減するための活動』
に取り組んでいます。



今期の主な活動は・・・

オイル金額表示！
…タダじゃないんだぜ～



5S活動推進管理

『共有スペースの整理・整頓活動』
に取り組んでいます。



今期の主な活動は・・・

倉庫内の管理始めました！
ライン引きのご用命は当班まで！



衛生設備・ごみ管理班

『ごみ置場等の清掃・管理活動』
に取り組んでいます。



今期の主な活動は・・・

掃除道具チェック！
可燃ごみの搬出！
食堂大掃除！



VIII. 環境関連法規制の遵守状況

(1) 当社に適用となる主な環境関連法規

法規制等の名称	遵守確認事項	遵守状況
自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別処置法	規制地域外 社有トラックは規制対応車	遵 法
浄化槽法	11条検査記録	遵 法
騒音規制法	自主簡易測定	遵 法
振動規制法	自主簡易測定	遵 法
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	産廃業者との契約書 マニフェスト管理	遵 法
消防法	火災報知器設置届	遵 法
グリーン購入法	グリーン購入品目調査中	遵 法
家電リサイクル法	該当なし	遵 法
自動車リサイクル法	該当なし	遵 法
水質汚濁防止法	油水分離槽に破損なし	遵 法
フロン排出抑制法	自主検査	遵 法

(2) 違反について

2024年3月29日に実施した関連法規制の確認において、環境関連法規等への違反・訴訟はありませんでした。近隣や関係機関等からも苦情や指摘はなく、訴訟も同様にありません。

IX. 代表者による全体評価と見直しの結果

今期は、金属廃棄物の排出量が大きく増加してしまいましたが、その他削減傾向にあり、まずまずの結果だと思います（金属廃棄物は有価で引き取っていただけるので）。

売り上げは戻りつつありますが、経費全般が高騰している状態ですので、利益率は下がっています。そのため経費削減が重要となる中、エコアクション活動の重要度が非常に高まっています。

環境委員会での活動内容の発表で、工夫をこらしてわかりやすく発表する班も増えてきましたが、活動の現状や効果を数値化して、削減額が見える化する活動がまだまだ弱いので、その辺を強化していけるよう意識して、継続的な活動を推進していきます。

当社的一大イベントである富岡工場でのS-HEVラインの量産開始が目前にせまってきました。スムーズに立ち上げられるように、また富岡工場をエコアクション活動のモデルラインとできるように、社員一同協力して進めてまいります。